

町内会や町民団体の運営などの相談に対応します

地域支援員による「出張支援窓口」を開設

町は、町内会や町民活動団体の運営などを支援するため「町民まちづくり活動センター」に地域支援員を配置しております。現在は同センター内で地域点検や町内会の運営などの支援業務にあたっていますが、9月から毎月定期的に各地区に出向く「出張支援窓口」を開設しますので、町内会・団体の運営や活動などについて、悩まれていることやお困りのことなどがありましたら、気軽に相談してください。※社台地区・白老地区は同センターに常時、支援員が在籍し対応しております。

【9月の開設日】

- 虎杖浜公民館 8日(火)・17日(木)
 - 竹浦コミセン 15日(火)・24日(木)
 - 萩野公民館 10日(木)・29日(火)
- ※時間は13時30分～15時30分

【支援業務例】

- ・町内会、団体の規約などの作成
- ・町内会会員台帳の作成
- ・町内会区域図の作成
- ・回覧文書や各種資料の作り方
- ・町内会の連携や合併などの相談
- ・がんばる地域コミュニティ応援事業の申請書作成など

気軽にどうぞ

問い合わせ先：町民まちづくり活動センター ☎82-4253
企画課 地域振興グループ ☎82-8213

9月9日は「救急の日」

救急車の適正利用 こんな時は迷わず119番！

全国の救急出動件数は年々増加し、10年前と比べると約30%増加しています。白老町も例外ではなく、昨年の救急出動件数は1024件と、ついに1000件の大台を超えました。

出動件数の増加に伴い、全国的に救急車の適正利用の周知機会が多くなってきていますが、搬送された人の中には、救急車を呼んで良かった方や我慢して救急車を呼ぶのが遅くなってしまった方もいます。救急搬送の年齢別内訳では、65歳以上の高齢者が全国で約60%、白老町も昨年は704人、約70%を占めていますので、特に高齢者の場合は右図を参考に、迷わず、我慢せず、すぐに救急車を呼んでください！

※子ども・成人別の症状について知りたい方は、町消防本部または消防庁のホームページを活用し情報を入手してください。



高齢者

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

けいれん

- けいれんが止まらない

飲み込み

- 物をのどにつまらせた

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

問い合わせ先：町消防本部 ☎83-1119